鶴見区 安全・安心通信

区役所

「ひったくり防止キャンペーン」のお知らせ

鶴見区役所では「だれもが安心して暮らせるまち鶴見区」をめざして「ひったくり防止キャンペーン」を行っています。自転車でお越しいただいた方に、ひったくり防止カバー（今回は牛乳石鹸寄贈のもの）の配布を無料で行います。この機会に、ぜひお越しください。

今回配布のカバー（赤）

日時 8月17日（月）　18時～19時
※雨天中止（当日16時までに判断）

場所 イオンモール鶴見緑地⑭出入口（鶴見4-17-1）

※先着200名（無くなり次第終了）
※カゴの種類によっては取付けできない場合があります。
※当日、自転車でお越しください。
※荒天などの都合により、中止になることがあります。
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスク着用でご参加ください。
※当日、発熱等の症状がある方は参加をご遠慮ください。

問合 市民協働課 1階⑧番　☎6915-9848

警察署

安まちメールにご登録をお願いします

「安まちメール」とは、鶴見区内で発生した犯罪情報をタイムリーにお知らせする大阪府警察のメール配信システムです。携帯電話等のメールアドレスを登録しておくだけで、犯罪発生情報やキャンペーン情報がすばやく届きます。また、鶴見区内で連続して発生していた公然わいせつの犯人を検挙したことなど、犯罪の検挙情報等も配信しています。

★登録のメリット

具体的な犯行手口や防犯対策を知ることで注意すべき点がよく分かり、子どもたちにも的確な指導ができます。

★登録方法はとっても簡単!

touroku@info.police.pref.osaka.jp へ空メールを送信してください。
QRコードからも送信できます。

問合 鶴見警察署 ☎6913-1234 FAX 6913-1869

消防署

住宅用火災警報器の不適切な訪問販売・点検に注意

住宅用火災警報器の点検・電池交換で住宅を訪問する業者による不適切な事案が区内で発生しました。住宅用火災警報器は消防法でその設置が義務付けられています。また定期的な点検・交換が必要であり、皆さん自身でできます。

大阪市消防局では、住宅用火災警報器について消防職員による設置・維持管理（点検・交換）の調査や啓発は実施していますが、**点検・交換・販売の業務は実施していません。またこれらの業務の業者への委託もしていません。**

「あやしいな?」と思ったら

⚠ その場ではっきりと断る!
⚠ 契約書など、いかなる書面にもサインや押印をしない!

もしもトラブルになってしまったら

不適切な販売・点検や高額請求をする点検業者が居直ったり、脅迫的な行動をしたときは、お近くの警察署や消防署にご相談ください。

問合 鶴見消防署 ☎6912-0119 FAX 6912-6043

チカツキョウだョ! 全員集合

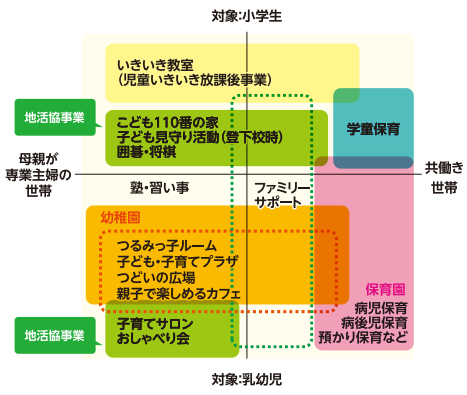
8月の行事予定

【鶴見】17日（月）～23日（日）　ラジオ体操/鶴見南小学校
※詳細は地活協へお問い合わせください。

鶴見区だからこそできる子育て応援とは!?

鶴見区の子どもの割合（※）が大阪市内で一番高い（市内平均11.2%に対して鶴見区は15.7%）ことを知っていますか?区内では、子育てサロンや親子で集えるカフェ、ママたちが運営する親子コミュニティの場（下図参照）などがあります。特に子育てサロンは地活協が力を入れている子育て応援事業のひとつと言えます。

一方、子育て真最中のママたちからは「同年代の子どものいるママたちとつながりたい」「ゆっくり相談や話がしたい」という声が聞こえてきます。「子育て頑張っているね」という声掛けだけでもうれしいという声も!鶴見区だからこそできるママとパパの子育て応援、まだまだ広がりそうです。



（※）子どもの割合=15歳未満人口の割合（平成27年国勢調査より）

地活協会長インタビュー

各地域活動協議会の会長へ「地域の魅力」や「地活協10年目に向けての抱負」をお聞きする新企画

第4回 山田 重信 氏／NPO法人 榎本地域活動協議会 理事長

――地域の魅力とは?（地域コミュニティの観点から）

魅力は歴史。阿遅速雄神社と中高野街道を中心に形成されていた放出村が明治時代に市制変更により榎本村となり、1925年大阪市に編入され「榎本」という地名がなくなった。水田の多い農業地域が商店や工場へ、さらに住宅が増え、現在は若い世代と高齢者が多い地域へと変貌した。昨年JRおおさか東線が開通し便利で暮らしやすいのが誇り。

――地活協で実現できたことは?

NPO法人として地活協事業はいち早く着手したが、連合振興町会との考えの差を埋める努力中。古い体質から脱却し、若い新しい担い手の育成がいくらか進んだ。小規模多機能居宅介護事業として、通い・訪問・お泊りを臨機応変に使える地域密着型の介護施設を運営。

――地活協10年目に向けた抱負は?

事業継続のためには、若い世代に引き継げる環境づくりとバトンタッチが必要。今の事業内容を見直し、よき伝統を継承してゆく事業と、新しい参加が可能でいろんな意見を取り入れる工夫が必要。

――地活協の会長として大事にしていることは?

町会のみなさん、活動団体等、商店・企業・事業所、福祉・保健・教育施設、行政などが協働でささえあうまちづくりが大事。そのためには、交流や話し合いが必要である。また、自ら声をあげない方や課題を認識していない方への対応、町会内での情報共有、ICT活用による人材確保・育成などにも気を配っていきたい。

facebook「つるカフェ」　YouTube「ツルカフェチャンネル」
※インタビュー動画近日公開予定

榎本地域データ

◎人口…17,189人
◎世帯数…7,718世帯
◎65歳以上人口比率…22.8%
◎15歳未満人口比率…13.6%
◎単身世帯比率…36.4%
◎持ち家率…54.4%
◎戸建て率…29.1%

※参考／平成27年国勢調査より

地域活動協議会とは、町会加入の有無にかかわらず、全住民対象の地域を支える新しい地域活動のしくみです。鶴見区では12小学校下それぞれに地域活動協議会があり、活動を行っています。
【問合せ】鶴見区まちづくりセンター　☎6967-8931　✉turumi-machikyou@arion.ocn.ne.jp　つるカフェ facebook

●以下は広告スペースです。広告内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。